

## 英語科学習指導案

日時：平成 18 年 11 月 21 日(火)

学級：花巻市立石鳥谷中学校

2 年 1 組(男子 17 名、女子 16 名 計 33 名)

授業者：菅原 淳 ・ 伊藤 マヤ

### 1 単元名 The Story of Silent Night

(NEW HORIZON ENGLISH COURSE BOOK UNIT 6 )

### 2 単元設定の理由

#### (1) 教材性や指導価値について

本単元では、クリスマスを題材にした単元であり、中でも特にクリスマスソングとして有名な「きよよこの夜」が誕生した背景の紹介が中心となっている。クリスマスの時期になるとよく耳にするこの曲が、クリスマス直前にオルガンが壊れるという危機に直面しながらも、ギターをオルガンの代用とする機転によって生まれたという内容は生徒の興味をひきつけると考える。困難に直面した場合でも、持てる知恵や技術を駆使して乗り越えようとする姿、また友人と協力して物事を達成しようとする姿の素晴らしさが示されており、自分の生活と重ね合わせながら物語を読み進めさせていきたい。また、キリスト教圏の一大イベントであるクリスマスには、宗教的儀式として教会でミサを受けたり、家庭でディナーを取ったりするという習慣があり、日本のクリスマスの過ごし方と比較して触れることによって、異文化に対する理解を深めさせるのに適した題材である。

文法事項では there is(are)構文と、動名詞(目的格・主格)を扱う。there is(are)構文では、ものまたは人(生物)の存在を紹介する表現を既習の表現と対比したり、場所を表す前置詞を正確に使うことが出来るようにしたりすることによって、場面や状況を正確に表現する力を身につけさせたい。動名詞は、使用頻度が高く、表現の幅を広げる上でも有用性が高い表現である。既習である不定詞の名詞的用法「～すること」を想起させながら、定着させていきたい。

#### (2) 生徒の実態について

今年の 4 月に行った NRT 教研式学力検査では、5 の段階の生徒が 1 人(3%)、4 が 8 人(24%)、3 が 12 人(37%)、2 が 10 人(30%)、1 が 2 人(6%)であった。領域別に対全国比を見ると、全国 100 に対して、「話すこと」が 93、「聞くこと」99、「読むこと」97、「書くこと」91、であった。また、昨年度実施した学習定着度状況調査では、県平均 100 に対して、「聞くこと」が 102、「読むこと」95、「書くこと」94 であった。

生徒は落ち着きがあり、授業に集中して取り組むことができるが、「話すこと」について積極的な生徒が少なく、特に女子の中には進んで発言する生徒が少ない。「聞くこと」については普通の授業で随時、TF テストや Q&A を行っており、集中して取り組もうとする姿が見える。「書くこと」は NRT 検査や昨年度の学習定着度状況調査の結果から明らかなように、苦手意識を持っている生徒が多い。「読むこと」については、普通の授業で音読に比較的時間を多くかけている。1 ページあたりの音読量を増やすため、隣同士でのペア練習や教科書本文の虫食い読みなど、様々なパターンで練習しているので、意欲的に練習に取り組んでいる。

「書くこと」について、これまでに 8 月後半から授業の最初 10～15 分を利用し、英作文シートを用いて、3 文程度の英文を書く練習に取り組んだ。2 年生で学習した文法事項をもとに、自分

自身に関する事柄をテーマにして英作文練習を行った。常に TT の授業形態であり、英語でどう表現すればよいのかという生徒からの質問にもすぐ答えられる環境であったので、生徒がどんどん自分が表現したい内容について質問し、オリジナルの文を書くことができる生徒が多かった。

しかし、まだ文字や言語の機能に対する意識が低い生徒がいるため、本単元では be 動詞の使い分けや前置詞の機能、動名詞の語尾 ing 形や英文の語順など、基本的な事項を復習する機会としたい。

### 3 単元の目標及び評価規準

#### (1) 単元の目標

##### 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

「きよしこの夜」が生まれた逸話を積極的に読み進める。

##### 【表現の能力】

there is (are) 構文や動名詞を用いて、身の回りの事実や自分の考えなどを正しく表現できる。

##### 【理解の能力】

there is (are) 構文や動名詞の形・意味・用法や、物語の内容を正しく理解できる。

##### 【言語や文化についての知識・理解】

there is (are) 構文や動名詞の形・意味・用法を正しく理解できる。

クリスマスの習慣や、歌が誕生した経緯について理解を深める。

#### (2) 評価規準

| 領域   | コミュニケーションへの関心・意欲・態度                                       | 表現の能力   | 理解の能力  | 言語や文化についての知識・理解                                    |
|------|---|---|--|--|
| 聞くこと | 教科書の内容を積極的に読み進めようとしている。                                   |   | there is (are) 構文や動名詞を含む文の意味を正しく聞き取ることができる。    | there is (are) 構文や動名詞の形・意味・用法を正しく理解することができる。       |
| 話すこと | 間違えることを恐れずに、教科書の既習表現を利用した簡単な対話をしようとしている。                  | there is (are) 構文や動名詞を用いて、身の回りの事実や自分の考えなどについて話することができる。 |  | there is (are) 構文や動名詞を用いた英文を聞き手に正しく伝えることができる。      |
| 読むこと | 本文を気持ちを込めて朗読しようとしている。                                     | 気持ちを込めて本文を朗読することができる。                                   | there is (are) 構文や動名詞を含む文を読んで、その内容を理解することができる。 | 本文を読んで、クリスマスの習慣や、歌が誕生した経緯についてすることが理解できる。           |
| 書くこと | 間違えることを恐れずに、there is (are) 構文や動名詞を用いて、自分の伝えたいことを表そうとしている。 | there is (are) 構文や動名詞を用いて、身の回りの事実や自分の考えなどについて書くことができる。  |  | there is (are) 構文や動名詞の形・意味・用法を正しく理解して、英文を書くことができる。 |

4 単元の指導・評価計画（7時間扱い）

| 時間     | 学習内容  | 評 価 規 準                              |   |   |  |
|--------|---|--------------------------------------|---|---|--|
|        |   | コミュニケーション<br>への関心・意欲・態度              | 表現の能力                                     | 理解の能力   | 言語や文化についての知識・理解                            |
| 1      | Starting Out ( 本時 )<br>・ there is (are) 構文の形・意味・用法を理解し、表現する。                                    |                                      | there is (are) 構文を用いて、絵や写真の内容を書くことができる。   |   | there is (are) 構文の形・意味・用法を理解できる。           |
| 2      | Dialog<br>・ there is (are) 構文（疑問文とその応答）の形・意味・用法を理解し、それを用いて、簡単な対話をする。                            |                                      | there is (are) 構文の疑問文とその応答を用いて、簡単な対話ができる。 |   | there is (are) 構文（疑問文とその応答）の形・意味・用法を理解できる。 |
| 3<br>4 | Reading for communication<br>・ 物語を読み、登場人物の心情等を読み取り、それが表れるよう朗読する。<br>・ 動名詞を含む文の形・意味・用法を理解し、表現する。 | 歌が誕生した経緯について興味を持って読み進めようとしている。       | 気持ちを込めて物語を朗読することができる。                     | there is (are) 構文や動名詞を含む物語を読んで、その内容を理解することができる。 | 動名詞を含む文の形・意味・用法を理解できる。                     |
| 5      | Listening Plus6<br>・ 対話を聞き、具体的な情報や大切な情報を聞き取る。   | 必要な情報を得るため、メモをとるなどして、熱心に対話を聞こうとしている。 |   | 具体的な情報や大切な情報を聞き取ることができる。                        |  |
| 6      | Speaking Plus4<br>・ 目的地への道順を尋ねたり、教えたりする。  |                                      | 道順を尋ねたり、教えたりすることができる。                     |   | 道順を尋ねたり、教えたりする際にポイントとなる英文や語句を理解できる。        |
| 7      | Multi Plus3<br>・ 自分の町の紹介文を書く。   | 間違いを恐れず、既習表現を用いて、自分の町の紹介文を書こうとしている。  | 自分の町を紹介する英文を書くことができる。                     |   |  |

5 本時の指導

(1) 指導の構想

there is (are) 構文は意味上の主語が文頭でない特殊構文であるが、たくさんの写真や絵を提示し、繰り返し口頭練習することで英文の形を理解させ、基本表現の定着を図りたい。

既習の前置詞 “ on ”、“ by ”、“ in ”、“ under ” を想起させる。

新出文型の定着を確認するための問題練習を行う。制限時間を設定し、机間巡視を行いながら、丸付けも行っていく。早く終わった生徒には、教科書本文の重要語句の書き練習に取り組むよう指示する。

表現活動として、書く活動を行う。there is (are) 構文を用いて、絵や写真の内容を表現する英文を書かせる。

全体を通して、「書くこと」に焦点を当てて評価を行う。

(2) 本時の目標

there is (are) 構文を用いて、絵や写真の内容を書くことができる。【表現の能力】

there is (are) 構文の形・意味・用法を理解できる。【言語や文化についての知識・理解】

(3) 本時の展開

| 段階       | 学習内容              | 学習活動  | 教師の指導・支援   |            | 評価 |
|----------|-------------------|---|--|------------|----|
|          |                   |   | T1   | T2         |    |
| 導入<br>10 | 0 おまじない<br>カードの音読 | Good afternoon. 天気・曜日・日付を答える。<br>既習事項の書き取り練習。<br><br>T1 と T2 が話す英語を聞き、本時の課題を推測する。 | 英語学習の雰囲気を作る。<br><br>課題チェックと個別の英問英答を行う。<br><br>新出文型を使って、本時の課題を導入する。 |            |    |
|          | 1 あいさつ            |   |  |            |    |
|          | 2 Warm Up         |   |  |            |    |
|          | 3 新出文型導入          |   | 「～がある/いる」という表現を使って、写真や絵の内容を説明しよう。                                  |            |    |
| 展        | 4 基本文型の確認         | 英文を聞かせ、“is”と“are”の使い分けについて考える。  | 様々な例を提示し、“is”と“are”の使い分けに気づかせる。                                    | 生徒の理解を助ける。 |    |
|          | 5 新出文型の定着練習       | There is(are) ~ .の口答練習を行う。  | 正しく発音できているか確認しながら練習させる。  |            |    |

|             |  |   |   |   |
|-------------|--|---|---|---|
| 開<br>37     | 6 確認問題                                   | 練習問題を行う。                                    | 机間指導を行い、丸付けをする。<br>終わった生徒には次の課題を提示する。<br>聞き取りの観点を与える。 | there is (are) 構文の形・意味・用法を理解できる。<br>【言語や文化についての知識・理解】<br>(ワークシート) |
|             | 7 本文の内容把握<br>(1)新出語句の発音練習<br>(2)教科書の内容把握 | 本文を聞いて内容を推測する。                              | テンポよく行う。正しく発音できているか確認する。<br>短時間で概要把握できるよう留意する。        |   |
|             | 8 音読練習                                   | 意味を考えながら音読練習する。                             |   |   |
|             | 9 表現活動                                   | 写真や絵について“There is(are) ~ “を使って3文程度の英文で表現する。 | 机間巡視をし、英文を書けるよう助言をする。                                 | there is (are) 構文を用いて、伝えたいことを書くことができる。<br>【表現の能力】<br>(ワークシート)     |
| 終<br>結<br>3 | 10 課題の確認と次時の予告<br>11 あいさつ                | 次の予習の指示を聞き、宿題の確認を行う。<br>Good bye.           |   |   |

#### (4) 評価規準

| 評価規準  | 具体の評価規準                                |                                   | 努力を要する生徒への手立て    |
|---|--|-----------------------------------|------------------|
|   | 十分に満足できる(A)                            | おおむね満足できる(B)                      |                  |
| there is (are) 構文を用いて、絵や写真の内容を書くことができる。<br>【表現の能力】    | there is (are) 構文を用いて、英文を3文以上書くことができる。 | there is (are) 構文を用いた英文を書くことができる。 | 机間巡視を行い、個別支援を行う。 |
| there is (are) 構文の形・意味・用法を理解できる。<br>【言語や文化についての知識・理解】 | 練習問題が6問できる。                            | 練習問題が4問以上できる。                     | 既習の前置詞の用法を想起させる。 |